

生活環境部会 活動報告 ～2年間でふりかえって～ 部会長職務代理者 吉 鶴 弥 生

部 会 で の 活 動

生活環境部会は、平成19年度に5回（と任意部会5回の計10回）、平成20年度に3回（と任意部会3回の計6回）開催しました。

自然、環境美化、交通、地球温暖化、環境学習など部会でカバーする範囲が非常に幅広いため、最初は委員間の議論も漠然としていましたが、「私たちを取り巻く様々な環境問題は、私たち一人ひとりが行動しなければ解決しない」という思いを共有できたことから、人づくりに取り組む場「東海市エコスクール」について検討を進めました。

プロジェクトの活動

生活環境部会のプロジェクト「東海市エコスクール」は、平成20年4月20日の開校式からスタートしました。開校式ではジョン・ギヤスライトさんを招いての楽しいトークあり、ネイチャーゲームや自然観察会の体験あり、環境保全を目指す企業・団体のパネル展示ありと盛りだくさんの内容で開催し、160人の笑顔と地球・地域環境への思いが集まりました。

エコスクールの柱とした「自然コース」「産業コース」は6月からの偶数月に5回開催し、大人、子ども含め計210人の参加と学びがありました。

他にもCOP10支援実行委員会主催の「生物多様性シンポジウム」開催への協力、船島小学校や子ども会への出前講座、アピタ東海荒尾店の協力によるお店の売り場やバックヤードでのイベント開催など、「東海市エコスクール」としていろいろな団体などと協力する事により今までよりもイベントの幅が広がり、エコスクール全体で16講座を開催し762人が参加しました。

また、プロジェクトチームでは、東海市エコスクールのイベント実施だけでなく、他の先進事例の研究や千頭アドバイザーへの取材などをおして、どうしたらエコスクールを「学びあいと育ちあいの場」としてますます充実、発展させることができるのかの検討も続けています。



開校式



産業コース



自然コース



アピタ荒尾店・お店探検隊



COP10シンポジウム

活動の感想

多くの団体の協力を得てたくさんの講座を開くことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。それぞれの講座もとても好評で、定員いっぱい
の申込があったもの、寒い時期の屋外での講座にも大勢の方が参加されたもの、いろいろありました。参加者の多くの笑顔が印象的でした。

COP10支援実行委員会主催事業を東海市で行うことができたり、このエコスクールの事業が愛知教育大学発刊のブックレットで紹介されたりと、対外的な認知度も上がってきていると感じています。



星空の音楽会

今後の課題

部会が目指す、なごや環境大学のような、多くの団体に講座を主催してもらい、エコスクールの
実行委員会が支援する形の取り組みにいかに移行していくかが大きな課題です。

また、講座を開くことで満足するのではなく、いかに多くの市民が行動につながって
いってくれる動機付けになる活動にしていくか、を忘れずに考えていきたいです。